

# ふらっと通信



第17号

発行:南房総市 富山地域づくり協議会「ふらっと」  
 企画編集:地域づくり支援員(三橋・原)  
 〒299-2292 南房総市久枝257番地(南房総市富山支所内)  
 メールアドレス:tomiyamachiikidukuri@sunny.ocn.ne.jp

TEL 0470-57-3799  
 FAX 0470-57-3002



(体験学習で押し花の作り方を地域の方から教えてもらう)

(それぞれの思い出を話す、1・2年生代表の児童たち。左4人は歴代卒業生代表と区長会代表)



**思い出と感謝、  
 そして新たな歩みを目指して**  
 ～平群幼・小の平群フェスタが行なわれる～

平群幼稚園と小学校主催の平群フェスタが、11月16日に平群小学校で行なわれました。来年4月から同幼稚園と小学校は岩井幼稚園及び小学校と統合するため、今年が最後の平群フェスタになりました。

当日は「みる」「つくる」「かたむく」のイベントに分けて、「みる」には体育館に県立美術館の世界の名画の複製作品や平久里天神縁起絵巻などの展示、「つくる」には地域の方を講師に迎えた竹トンボや紙でつぼう・押し花などの体験学習、「かた



(世界の名画の複製をみてグループで話し合い、感じたままに新たな、そしてユニークな解説をする児童)

## 富山中で日本フィルハーモニーの 体験型講座が開かれます

～文化庁の文化芸術体験事業で～



富山中学校で12月12日(月)13時55分から、生徒を対象に日本フィルハーモニー交響楽団弦楽四重奏団の体験型講座が行なわれます。曲目は、モーツァルト作曲のアイネ・クライネ・ナハトム・シューク他です。開場は13時45分です。一般の方も聴くことができます。

この体験型講座は、来年3月9日(日)に富山県立ホールで行なわれる演奏会の前段で、文化庁で行なっている「次代を担う子ども文化芸術体験事業」の一つとして行なわれます。

詳しくは2月号に掲載します。



(幼稚園の屋台も登場して花を添えました)

「つなぐ」では校庭に地元の屋台や伏姫の郷の御輿が繰り出し、平群小学校卒業生らが思い出を語り、にぎやかな中にも母校に対する感謝の想いが感じられる閉園・閉校記念行事でした。

### わがふるさと富山⑩

#### びわの碑

(富山町史参照)

地元の方ならご存知と思いますが、びわは、毎年11月から12月にかけて清楚な白い花を咲かせ、約半年後には、おいしいみずみずしい実を付けます。

さて、房州のびわの元祖といふべきものは、市部福聚院の住職富山泰宣和尚(天保5年(大正9年)が、明治の初め東京から持ち帰った種子を寺の境内に植え、直播法によって改良したものです。こ

存知でしょうか。このびわは、当時最優秀品種として名声を博し、静岡方面まで広まったといわれています。その後、昭和5年これを記念して頌徳碑が福聚院入口の山門前に建立されました。品種改良は園芸発達の上で重要な要件で、福聚院枇杷は房州びわ改良の第一歩でした。その発見者富山泰宣師の徳をたたえて、房州びわ組合連合会及び千葉県農会・安房郡農会で建



(市部福聚院山門前にあるびわの碑、内は同寺に咲いているびわの花)

明治45年5月の鉄道停車場設置の請願書が吉野家文書の中にあります。その中に「殊一果実トシテ枇杷ノ産額著大ニシテ、年々京浜ノ兩地ニ輸出スルモノ常ニ十數艘ノ船舶ヲ往来セシムルニ足レリ」とあり、明治から大正にかけてびわ栽培がいかに盛んであったかがうかがえます。古老の話によると、その頃は小浦や出口の港から樽詰めびわを、渡海船で京浜地区に移出したと聞きま

◆伏姫と八房のたわ言◆  
 このころ一年が速く大きにいえば、このあいだ正月を迎えたのもう大晦日になってしまふ。

大晦日にそばを食べる習慣は今も残っていますが、私の子どもの頃は毎月末にそばを食べて新しい月を迎えました(自分だけかもしませんが)。そして、そばを食べながら話かけると、なぜか、祖母から「三十日そばは黙って食べるものだ」と叱られました。

毎年このころになると、祖母の言葉を思い出します。

地域づくり支援員

岩井ジュニア・シックス(高橋良次監督)は、小学生の女子バレーボールチームとして、千葉県小学生バレーボール連盟に登録して平成8年に誕生しました。

チームは、岩井・平群・三芳・富浦の4校の児童で構成され、現在19人の選手が毎週月・水・土曜日に、岩井小学校で練習しています。



(岩井ジュニア・シックスAチーム・メンバース)

す。チームモットーは、自分から元気のあるあいさつを行なうことです。

今のチームの目標は、来年3月に行なわれる、今年度最後の大会での入賞を目指しています。練習では厳しく、それ以外は明るく楽しく、礼儀正しいチームづくりを目指しています。現在、選手とチームスタッフを募集しています。

### 読者の投稿コーナー

ただいま、熱中しています。  
 市部在住 支倉恵子さん(67歳)  
 次回は、神崎利子さんにリレー

平成16年に住所をこちらに移し、興味のあったあみものを本格的に始めようと、富山公民館のサークル活動に入りました。現在では前講師の跡を継いで月に2回、6人の生徒さんにあみものを教えています。前から手芸的なものは好きで、自己流で調べたり工夫したりして押し花やペーパーフラワーなど装飾的なものも作っていました。現在は、セーターやバッグなど生活に密着したものを作っています。来年の1月にサークル活動を紹介する作品展が公民館でありますので、それに向けてセーターを編んでいます。

こちらに来てすぐ、外に出ていかないと友達ができないと思ひ、生涯大学の福祉科に入学、そのおかげで多くの友達ができまし

た。今は、社会福祉協議会の配食サービスのボランティアをしています。



(作品展に向けてセーターを編む支倉さん)



# 岩井川親水公園清掃活動終わる ～シルバー人材センター会員も参加して～

「ふらっと」では、「自分の庭だと思っ  
て愛するまち」を目標に、今年の4月から  
岩井川親水公園の清掃活動を、いままです  
地域の皆さんと一緒にやって行なってきまし  
た。親水公園の清掃活動は今回で最後で、  
地域の方々やシルバー人材センター会員と  
一緒に、遊歩道に伸びている枝を切った  
り、川の中の草刈りを行いました。  
作業後は会員が持ち寄ったサトイモや野  
菜・味噌等で芋煮会を催し、地元の食材を  
味わいました。

「ふらっと通信」  
は、久枝・市部  
区から地域の  
方の参加をい  
ただき、4月  
28日の草刈  
りや階段の土  
砂の除去作業  
から始まり、  
6月25日の  
ベンチのペン  
キ塗りや遊歩  
道の草刈り、  
9月24日  
には遊歩道の  
草刈り作業を  
行ないました。  
今回で計4回  
の清掃には総  
勢80人が参  
加して、より  
利用しやすい  
きれいな公園  
に蘇えりまし  
た。親水公園  
の清掃は、定  
期的に岩井  
案内人の会や  
地域の人が自  
主的に行なっ  
ていきます。



(きれいな公園に蘇えった親水公園)

地域のみなさん  
の手で、川に降  
り、きれいな  
公園に蘇えり  
ました。



(道路に覆いかぶさった太い木の枝をチェーンソーで切り落とし、薄暗い遊歩道を明るくする)



(川の中に2メートル以上伸びた竹をノコギリで切り、見通しをよくする)

「ふらっと」会員が作っている、サ  
トイモや手づくり  
の味噌・野菜など  
を持ち寄っておい  
しい芋煮が出来上  
りました。活動  
後にみんなで地元  
の食材を味わいま  
した。

作業後に芋煮会で  
みんなで地元の食材を味わう



(外で味わう芋煮はまた格別です)

活動は楽しい  
です。あなたも  
仲間に入りませ  
んか。

隠れた地域の話  
題を寄せてくだ  
さい。待っています。



座間幸夫さん



上村とみ江さん

毎月「ふらっと通信」の編集は、富  
山支所に在駐する地域づくり支援員が  
行なっていますが、今後地域の情報を  
多く掲載し紙面を充実させるために、  
「ふらっと」会員の中から編集委員を  
2人選びました。  
岩井地区は久枝の上村とみ江さん  
平群地区は平久里下の座間幸夫さん  
です。  
みなさんからも地域の情報をお寄せ  
いただき、より愛される紙面を作っ  
ていきます。

ふらっと通信の編集委員として  
上村とみ江さんと座間幸夫さん



活動前の遊歩道



活動後の遊歩道

（うっそうとしていた遊歩道  
も明るくなって、より利用し  
やすくなりました）

## 平成23年12月・24年1月の「ふらっと」会議・活動予定

- 12月18日(日) ふらっと実行委員会 13時30分～ 富山公民館
- 12月20日(火) 岩井駅構内にパンジーを植栽 9時30分～岩井駅に集合  
※観光協会及びいわい案内人の会と連携します。
- 1月11日(水) 輪と和部会会議 18時30分～ 富山公民館

富山地域づくり協議会「ふらっと」に参加したい方・興味のある方は、会議の様子などいつでも自由に見学できます。富山支所に常駐している地域づくり支援員にお尋ねください。ふらっとの活動は、南房総市のホームページ内のみんみんネットにも随時掲載されます。

南房総みんみんネット 検索

私の考える地域づくり⑯  
自然と共存できる社会が私の理想

私の考える地域づくりとは、人と自然が  
共存して環境破壊を起こさない、昔のよう  
なよき時代の自然環境を取り戻すことだと  
思います。  
私たちは自然の神秘に満ちた不思議な力  
に出会うとき、深い感動とやすらぎを得る  
ことができます。それは、人間がもともと  
自然の一部であり、自然に生かされている  
からではないでしょうか。私の理想は、地  
球に生きるあらゆる生き物がともに暮らせ  
る持続可能な社会をつくり、未来の世代に  
引き継いでいくことです。



二部在住  
能重初雄さん

福島原発事故によって私たちの力で  
は、どうにも防げることができない土壌や海  
水における放射能汚染が、長い将来にわた  
り私たちを恐怖に陥れていきます。また、  
そのような汚点を、遠い未来に引き継ぐこ  
とになります。とても残念なことです。  
一人の人間として環境破壊を防ぐこと  
は、微々たるものかもしれませんが、これ  
からも活動をおして、自然保護に努めて  
いきたいと思っています。